

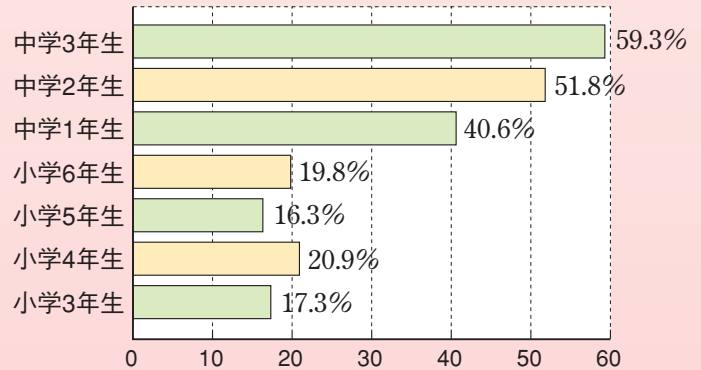
携帯電話の利用実態調査から

携帯電話は児童生徒にどの程度普及し、どのように使われているのでしょうか。〔「情報モラル等指導サポート事業」で平成18年12月に実施した調査（協力校：小学校8校計1698名，中学校4校計1557名，高等学校5校計2571名）より〕
（データは該当学年調査人数全体に対する割合（%））

◎自分の携帯電話を持っているか

学年	持っている	持っていない	合計
中学3年生	304	209	513
中学2年生	267	248	515
中学1年生	198	290	488
小学6年生	92	373	465
小学5年生	68	350	418
小学4年生	81	307	388
小学3年生	66	316	382

携帯電話を持っている割合（無回答を除く）



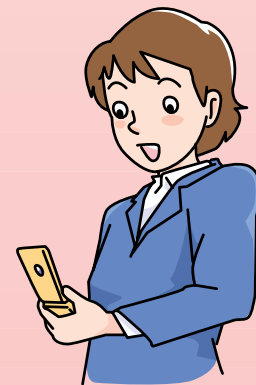
◎携帯電話を主にどのように利用しているか

	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1～高3平均
調査人数（人）	394	398	431	475	497	535	525	2571
① 電話をする	9.1%	11.8%	8.6%	13.3%	34.0%	39.3%	46.3%	86.6%
② メールをする	7.4%	8.5%	9.3%	15.8%	42.9%	55.0%	59.8%	92.5%
③ 携帯サイトを見る	2.0%	2.3%	0.7%	5.3%	15.1%	21.1%	32.4%	74.3%
④ その他	6.6%	5.3%	3.5%	1.9%	7.4%	6.5%	5.5%	12.1%

◎携帯電話に次のようなメールが来たことがあるか

	小学校	中学校	高等学校
調査人数（人）	1698	1557	2571
① 知らない人から	2.2%	19.1%	38.4%
② 出会い系サイト	(1.2%)*	4.4%	22.4%
③ チェーンメール	2.4%	31.3%	61.6%
④ お金の請求	0.2%	2.0%	8.5%
⑤ 他の変なメール	1.1%	2.0%	3.3%
⑥ トラブルに巻き込まれた	—	3.0%	3.9%

*は「誘いのメール」として質問



子どもの実態を把握する必要がある

これらのデータから、保護者の目の届くところで利用させたり、何らかのルールを作って使用させている保護者は、少数派であることがわかります。また、割合としては小さいですが、出会い系サイトを利用した経験がある児童生徒や、教育上不適切な情報にアクセスした児童、インターネットで怖い思いや、いやな思

い・困った思いをしたことがある児童がいることもこのデータは示しています。

メールやチャットの相手・内容を、保護者が分かっているか、悪口や嫌がらせなどを書いたり、書かれたりしていないか、けんかなどのトラブルを引き起こしていないか、チェーンメールを転送していないかなど、**保護者が子どものインターネットの利用実態を把握し、家庭でしっかりとした指導や対策をする必要があります。**